



はじめに

・本校の日本庭園にある池には、以前鯉がいましたが、平成23年8月から放置されコンクリートがむき出しの状態となっていた。そこで自分たちの手で整備し、学校ビオトープとして絶滅の恐れがある生物たちの保全活動を目標に平成24年の春から研究をスタートした



目的

- ・昔よく飛んでいたのに目撃されなくなったヘイケボタルの保全を推進する
- ・ビオトープで多様な生物が暮らせる環境を作るだけでなく、絶滅危惧種などの貴重な生物の保全活動を推進する
- ・本校の日本庭園が生徒の憩いの場となり地域の方にも関心を得られ、親しみやすい高校にしたい

方法

落差を作り水に酸素を多く含ませるため、石でせきを作り石を張ることで多方向への水の流れを作った（図1）
石を並べちょっとした花壇を作り、絶滅危惧種に指定されているデンジソウなどの植物をハート形の島に植えた（図2）



図1.第一期工事後の様子

図2.絶滅危惧種を植えたハート形の島

ホタルについて

- 1 オス8匹、メス5匹のホタルの成虫から卵を産ませた
- 2 タニシ・カワニナ・モノアラガイなどをえさに育成
- 3 ホタルを室内で幼虫まで育て、体長1cmを超えたものをビオトープに放流した
- 4 6月中旬に成虫3・4匹、確認できた



図3 ホタルを放流する過程

植物の保全について

絶滅危惧種である植物の保全を目的として
ミズアオイとデンジソウを植えた
この二種は**絶滅危惧種Ⅱ類（VU）**に指定されている
しかし、現在ではデンジソウが増えすぎている



図4 現在の植物の様子

その他の生き物

	種類
放流した生き物	・メダカ ・ヘイケボタル ・カネヒラ ・タナゴ
入ってきた生き物	・アオモンイトトンボ ・コオイムシ ・ホノミイトトンボ ・ミナミヌマエビ ・クロスジギンヤンマ ・アメンボ ・シオカラトンボ ・ショウジョウトンボ ・ゲンゴロウ亜科の1種の幼生



今後

生態系をよりよくするために、これから絶滅危惧種の保全に貢献できるようなビオトープにしたい
ビオトープを生徒が立ち寄り易い場所にし、もっと生物について興味を持ってもらいたい
また、ここで終わりではなく今後課題研究を選択する後輩に受け継ぎ長期的に改善改良し続けたい

